

AJU

コンビニハウス

会報

編集/コンビニの会事務局
連絡先/〒452-0807 名古屋市西区歌里町147番地
TEL/FAX(052)505-6082(コンビニハウス)

障害をもつ人たちの地域生活を支援する
**特定非営利活動法人
コンビニの会**

定価/150円
昭和54年8月1日第三種郵便物承認

第138号



マダガスカル島の子供たちと

音楽は世界の共通語

フォトグラファー 松田マキコ

『♪ふ～♪ふ～♪』首からピアニカをぶら下げて歩く変なおじさんの後をついて行進をする子供達。吹くのをやめるとピタリ!と止まる。それを何回も繰り返し、面白くてしようがない笑顔の子供たち。マダガスカルでのひとコマ。

言葉は通じなくとも、音楽があれば一瞬で友達になれる!

ピアニカ(鍵盤ハーモニカ)が、今ブームになっている。持ち運びが楽で、お値段も手頃。誰でも吹けばすぐに音が出る。日本では、小学校低学年の音楽の授業で使われているので、子供の教具と思っている方も多いだろうが、このピアニカは、何とも奥深い楽器なのである。

吹く息の強弱によって、表情豊かな音楽になるのだ。時にアコーデオンのように情熱的に、ハーモニカのように哀愁を誘い、歌のように優しく語りかけ、聴く人の心を動かす。

(次頁へ)

そんなピアニカをプロのミュージシャン達が真剣に取り上げはじめている。写真の松田昌さんもそのひとり。

夢中になつて吹いているうちに、たくさんの奏法を編み出し、曲集を出版し、CDも出しているのだ。

そして、東京・名古屋・大阪では、ピアニカ教室へ通う大人の生徒たちで賑わっている。

因みに、ピアニカを吹くことで、肺が丈夫になり、指を動かす事で、脳の活性化につながるので、高齢化の現代には最適！な楽器かもしれない。

押入れにしまい込んでいるピアニカを引っ張り出して、手にとって吹いてみては、いかがでしょうか！

た。一応、【食卓をそろえる】を夢にしてるからこれもその一つ。



イースター島 モアイ像の前で

昨年の12月から名古屋への野菜の配達を減らして、週一にした。これまで、最大週4日野菜を売りに行っていた時から思うと大幅削減！ 売ることばかり先走って、だんだん自分の野菜の栽培がちゃんとやりきれてないことを痛々しく思えてきて、このままでは農家として先がないと感じての判断。まだ半年経たないくらいだけど、これまでとは比較にならない

くらい野菜に手がかけられる気がする。

今まで昼間作業して、夕方から夜配達に出かけててそれなりのリズムを持ちながらも不規則な生活。それが今では配達の日も夜ご飯には帰つてこれで、ほと毎日規則的なリズム。そんな余裕からか、ただの好奇心か、鶏を自分たちの卵用にと飼い始めてしばらく経つけど、今年から販売目的に増やしていくことにした。

そしてつい二週間前、突如ミツバチも僕の視野に入ってきた。一宮市でニホンミツバチを飼つてるおじいさんが、どうにか若い世代に引き継ぎたいと口説いたのが僕のお客さんで、「僕の家の周りに巣箱を置かせてくれないか」と、おじいさんと実際に見にきた時に、「君も飼つたらどうだ！」「全部教えるから！」と、えらく熱弁。おじいさんの勢いと自分のワクワク感に押され、始めることに。といつても、まずは野生のハチを獲るところから。桜が散つてから、6月ごろまでに分蜂する群れを仕掛けた巣箱へ生け捕りにするようだ。

家の前の神社の森にはどうも来そうな気配をおじいさんは感じるみたいで、大興奮。とりあえず巣箱を借りてきて。先週からその森に仕掛けている。だんだん減つているという二ホンミツバチ。ちよつと聞いただけだけど、蜂の世界もとても興味深く、これから生き方にも通じるような気もする。

しかし、ハチミツまで。僕の働き方改革もよっぽどいいもんだ！

雑記 ごまめの歯ぎしり

働き方改革

2019年度

生活支援部方針について

生活支援部 現場総合主任

神原 芳典

次に掲げる3つを【重点目標】としました。

① 職員の採用と定着

② 中期計画（5年後）、長期計画（10年後）

の策定

③ 介助者とは何かを考え、育ち合う

まず、職員の採用と定着についてです。前年度、生活支援部では3名の常勤職員の退職がありました。また、現在働いている職員も長時間勤務や、夜勤の増加等で肉体的、精神的負担を抱えています。こうした状況を打開

する為、職員採用と働き続けられる職場作りを職員全員で共有したいと思います。

めずに推し進めていきたいです。

次に、現在支援を行っている利用者、家族

から、生活支援や暮らしの場を求める声が多く寄せられています。新施設では短期入所事

を行ってほしいという申し出がありました。見

業の拡充を予定していますが、平行して5年

後、10年後を見据えた事業計画を策定し、

利用者、家族と一緒に準備を進めていきたい

動をしていたが、エゼルは職員が丁寧に教え

てくれる、周囲の学生から聞き興味をもつ

たそうです。

三つ目は、介助者についてです。若い常勤

活動している学生ヘルパーへの丁寧な働

職員やパートヘルパーが増加していること

きかけや、大学のゼミ訪問を繰り返すなかで、

に加え、支援現場の個別化が進み、介助者

エゼル福祉会の活動と、そこで働く職員の姿

勢が徐々に伝わり、共感を得ているように感

じました。この数年、学生ヘルパーとの結び

ます。

つきが希薄になっていたため、この流れを止

エゼル福祉会が目指す介助、支援を理解し、

実践できる介助者を育成できるよう、法人の理念や、先輩職員の経験を言語化して伝えていきたいと思います。

最後になりますが、私が生活支援部を取りまとめるようになつてから3年余りが経ちました。年を重ねるごとに、職員一人一人の成長を感じ、頼もしく思つています。

若い職員が多い集団で、うまくいかないこと、間違えてしまつことは日々あります。それでも失敗から学び、僅かずつですが着実に

事業を前進させていきます。



新年度のスタート

通所部 WILLサービス管理責任者

寺澤 廉英

併設した新施設が完成しました。4月に引っ越しを済ませ、6月からはいよいよ通所施設へと動き出します。VOLLOの開所を踏まえ、

今年もまた4月から2名の特別支援学校卒業の仲間を迎えたが、元々狭いことが問題になつて、WILLは人数が増えて更

に狭くなりました。それでも毎日を賑やかにするWILLでの日々をすごしています。

6月になると新施設VOLLOの開所で11名の利用者が異動し、赤城町のWILLには

13名の仲間がのこります。VOLLOへ行く利用者さんや職員は、新しい環境に早くなれること、元気で安全に通所を重ねていけるようになります。

法人本部や短期入所、相談支援事業などを

となります。WILLについては、3つの

重点目標を掲げ、取り組んでいきます。

1. やりがいのもてる作業・活動の場をつくります。

授産事業の安定は長年の課題であり、これまでなかなか整理できませんでしたが、新しい施設に併設される地域サロンでのお菓子の販売に期待して、安定的な工賃の支給を目指します。

2. 自主性を育み、できることを重ねて自信をつけていける場を目指します。

利用者の得手不得手や個性を改めて確認し、やつてみたいという気持ちを大切にして、チャレンジしていくようにすすめていきたいです。また自分にできることが他の誰か

の役に立つことで、お互いに気にかけあえる

ように集団の中での役割もどんどん工夫してつくりていきたいと思っています。

3. 地域社会とのつながりをふかめ、お互いが知り合える取り組みをすすめていきます。

最近は町内会の方もよく声をかけて下さるようになっています。ふらっとお菓子を買に来てくれる方もいらっしゃいます。今年も町内の活動に参加したり、WILLでの活動を通じて関わることでもつと関心をもつてもらえる人を増やしていくかと思います。

昨年度末から職員も入れ替わりがあり、課題も多く、不安もありますが、この一年を大きなチャンスと考えていただきたいと思います。

エゼル福祉会のロゴマークができました！

● ロゴマークの解説 ●

3つの柱は利用者さん、ご家族、エゼル福祉会を意味し、それをとりまく輪は地域社会を示しています。地域社会とともに暮らしながら、利用者さん、ご家族、エゼル福祉会の三者すべてが笑顔でいられるように「三方良し」のねがいを込めていました。三者のうちひとつを「ご家族」にしてあるのは、エゼル福祉会の事業がご家族の負担を減らし、より利用者さんとご家族が自分らしい生活ができるようにするという役割を意識しています。



※モノクロですが、本来はカラーのロゴマークになります。

VOLO歌里 完成式

日 時: 2019年5月14日 (火) 11:00~

場 所: 社会福祉法人工ゼル福祉会 VOLO歌里 名古屋市西区歌里町147番地



～ 完成したVOLO歌里 ～

～ 理事長挨拶 ～



～ 感謝状贈呈 ～

(左) 株式会社 加藤建築事務所 (右) 滝藤建設株式会社



～ 来賓挨拶 ～

(左上) 名古屋市健康福祉局 障害福祉部長
戸松 正隆様

(左下) 社会福祉法人 愛光園 理事
廣瀬 治代様

(右上) 名古屋特別支援学校 教頭
岩佐 龍次様

(右下) 大野木学区区政協力委員長
大塚 春行様



～ 通所陪附代表挨拶・職員紹介 ～



～ 式場内の様子 ～

～ 完成式後、ヴァイオリン演奏がありました ～
奏者：古井 麻美子様

6月のVOLO開所に向けて

通所部 坪内 美紀

え、育休明けのスタッフも戻り、支援する側もとても手厚くなりました。看護師が3人になつたことで、チームとして動けるようになり、VOLOに必要な物品や医療ケアの必要な方への支援についての話し合いも進めている最中です。

4月から新しい仲間が2名増え、WILLはとても賑やかになりました。

リラクグループには普段は眠そうにしているけど、みんなの声を聞くと楽しくていつもニコニコと時には嬉しそうに「あー」と声を出してくれるTさん。パソコングループにはいつも元気で明るく、月曜日に出勤すると「早く金曜日になれ」と言つてはみんなから「まだ早いよ」とつっこまれて楽しそうにしているKさんが入りました。2人は3月に名古屋特別支援学校を卒業したばかりですが、緊張も段々取れてきて2週間たつた今ではすっかりWILLの一員です。

新しく看護師2名、生活支援員1名が増

持ちをアピールしています。落ち着かない中でも新しい環境に慣れようと頑張つている仲間もいて、スタッフと仲間が協力して変化に立ち向かっています。

4月1日の入所式の際、午後にみんなでVOLOまで散歩に行きました。「近くにあるから歩いてでも行けるね」や「みんなに大き

いのが出来たんだね」、「一緒に活動出来る日があるといいな」という前向きな声が出てきました。仲間が中に入れるのは5月中旬頃になります。仲間対応だけでなく、製菓やパソコン、軽作業等の各グループの業務の引き継ぎや、軽作業グループでは商品の検品方法や納品先とのやり取り等も新しいスタッフに引き継いでいかなければならぬので、毎日がてんやわんやの状態です。

VOLOを建設することが決まった頃はまだまだ先の話だと思つていましたがあつたう間に6月が来てしまうこと驚いています。介助方法や業務の引き継ぎ、活動内容をどうしていくのか等、まだまだ課題は山積みですが、通つてくれている仲間が楽しいと思える場所になるようにひとつひとつクリアしていくべきだと思います。

年度末に慣れ親しんだスタッフとの別れがあり、4月からの新しい環境に馴染めない仲間もいます。トイレに鍵を掛け閉じこもり「きらいだー」と叫ぶAさん。スタッフが声をかけてもなかなか出てこられないけど、仲間が声をかけることで、すぐに鍵を開けて出てきてくれます。言葉には出せない不安な気

新施設VOLO歌里募金 現状報告

集計期間 3月1日 ~ 4月30日

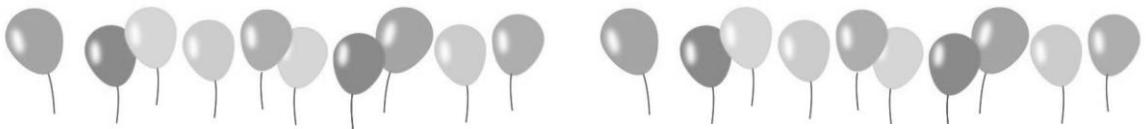
4月30日現在 募金累計額 9,249,340円

本田 章子	水野 雄大
辻本 道子	東名メンテナンス
長谷川 泰史	大西 美知代
福永 典子	えびす歯科 黒木 豊
外山 栄子	神谷 佳広
高橋会計事務所	丹羽 正子
伊奈 晶子	三村 幸子
渡邊 治子	大川 美知子
近藤 直子	吉田 まつ子
福山 孝子	重森 隆子
皿井 寿子	渥美 弥
安藤 沙恵	鷲野 友美
荒井 一昭	山田 留美
棚瀬 さおり	越智 章仁
北川 朋子	山川 ひとみ
高田 徳雄	松岡 香代
森 英一	中井 香代子
服部 美香	前田 紀子
平田 陽子	渡邊 覚
藤橋 僕	
新谷 安男	
高村 健士	
青木 政治	
中島 溫子	
國井 隆榮	
高木 篤司	
大島 伊久代	
中谷 和代	
木本 繁實	
山口 恵美子	

(敬称略・順不同)



寄付を頂いた皆様
ありがとうございました



《活動状況》

3月

- 1日 理事会
- 4日 審査会 (榎原)
- 8日 生活支援部主任会議
工程会議 (大川・榎原・溝口・野村・坪内)
審査会 (渥美)
- 9日 評議員会
- 14日 通所赤城会議
- 15日 通所歌里会議
自立支援協議会 (寺澤)
- 18日 審査会 (榎原)
北東ブロック会議 (佐藤)
- 19日 給食クックチル研修 (桑名・奥村)
- 20日 会報発送
- 21日 WILL 祝日開所
- 22日 通所主任会議
- 26日 名古屋市集団指導
(榎原・溝口・渥美・久野・水谷・寺澤・有満)
通所全職員会議
- 28日 WILL 親の会
きょうされん会議 (佐藤)

4月

- 1日 WILL 入所式 (小出さん・滝川さん)
- 2日 きょうされん会議 (佐藤)
- 3日 会報会議
設立委員会 (寺澤・坪内)
- 5日 通所主任会議
- 9日 通所赤城会議
- 12日 生活支援部主任会議
通所歌里会議
- 14日 春ののびのび講座 (鬼頭・土田)
- 15日 北東ブロック会議 (佐藤)
- 17-19日 中小田井→歌里へ備品移動
- 17日 通所主任会議
- 18日 暮らしの場交流会 (渥美)
- 19日 名古屋市実地検査(ショート)
- 23日 新入社員オリエンテーション
自立支援協議会相談支援部会 (有満)
審査委員研修 (渥美)
- 25日 WILL 親の会

重度訪問介護従業者養成研修のご案内

重度訪問従業者養成研修を下記の日程（全日程3日間）で開催いたします。
身体に障害のある方の支援ができる資格です。福祉の現場に关心がある方、経験を将来に活かしたいと思われている方に、受講をおすすめします。資格取得後は、ヘルパーとして活動できます。この機会に福祉の現場をのぞいてみてください。



◇日程 講義/実習 全日程3日間 土曜日コース

2019年 6月1日(土)・8日(土)・15(土) の3日間

◇ 開催場所 社会福祉法人工ゼル福祉会 VOLO 歌里 研修室

◇ 受講料 10,000円

◇ 定員 15名 (先着順、定員になり次第締め切らせていただきます。)

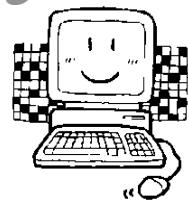
◇ お申込み・お問い合わせ 下記メール、または電話FAXにて受付いたします。

✉ convini@beach.ocn.ne.jp ☎・Fax 052-505-6082 担当 事務局 岩崎

愛知県承認指定講座 事業所番号 愛障 137号

↑
ホームページ URL
は
こちらをスキャン

事務局コーナー



「ご協力ありがとうございました」

3月～4月（敬称略・順不同）

★ ご寄付いただいた方々

(NPO 法人コンビニの会)

※会報購読料1万円以上お振込みの方
東名メンテナンス

★ 物品寄付をいただいた方々

(コンビニハウス)

石原まち　辻本道子

(WILL)

満田ひかり　浅野央裕
早川佳乃　大野香緒里
北島ゆり香　磯部常光



★ 活動にご協力いただいた方々

(コンビニハウス)

石原正寅　土田京加　辻本道子　黒田隆広
藤本菜見　石原まち　村上梨央　楠村ゆき
鬼頭優菜　伊藤翔磨　松本浩希　奥村　修
星野恭兵　和田遙香　鈴木千春　寺西　剛
山川尚輝　田邊利徳　森岡佳乃
酒井まみ子　近藤友紀子
藤本由紀子　茂手木利典

(WILL)

須田たみ子

(VOLO歌里 完成式)

藤田ますえ　野崎百合子　神谷登志子
岡田節子　森田美津子　山田久美子
佐藤美紀子　半田素子　高嶋みえ
小出美穂　石原雅織　中谷和代
浅井潤子　長谷川友子　古井麻美子
安永秋憲　川島秀信　ウィル親の会

★ 会報発送ボランティア

佐藤美紀子　半田素子
吉田嘉子　丹羽正子

認定 NPO 法人イーパーツ様より

ノートパソコン1台とモニター2台を寄贈していただきました！

2019年2月16日に名古屋市市民活動推進センターにて寄贈式が行われました。Windows7が2020年1月14日までサポート期限となっています。最新のWindows10のノートパソコンを寄贈していただいて大変助かっています。パソコンのモニターも調子が悪かった2台を寄贈していただいたモニターに交換しました。パソコンを寄贈していただいたお蔭で職員の事務作業効率も上げることができます。リユースされたパソコンを最大限に活用し、大切に使わせていただきたいと思います。誠にありがとうございました。



寄贈式の様子



大切に使わせていただきます！

【銀行口座】

三菱UFJ銀行 小田井支店 店番238（普）口座番号1440108
特定非営利活動法人 コンビニの会

【郵便振替口座】番号 00800-2-35190 コンビニの会

ご意見・ご質問・お問い合わせは下記までお寄せください。

障害のある人たちの地域生活を支援する

特定非営利活動法人

コンビニの会
理事 宮川 優子

〒452-0807 名古屋市西区歌里町147番地

コンビニハウス Tel (052) 502-7731

Fax (052) 505-6082
URL <http://ezeru.sakura.ne.jp/>
E-mail convini@beach.ocn.ne.jp

